

○ 第1部 市政報告	
(1) 市長からの市政報告	
<p>1. カーボンニュートラル推進の取組</p> <p>2. デジタル化の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・マイナンバーカード ・各種手続きのオンライン化 ・電子地域通貨 <p>3. 森林観光都市を目指したまちづくり</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小田急線4駅周辺にぎわい創造 ・弘法山公園利活用方針 ・頭高山周辺の森林整備 ・羽根森林資源活用拠点(仮称) <p>4. 女性と子どもが住みやすいまちづくり</p> <p>5. ほりかわ幼稚園のこども園化</p> <p>6. 大倉高原テントサイト</p> <p>7. 通学路整備・市道改良など</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市道17号線通学路安全対策事業 <p>8. クアーズテック秦野カルチャーホール大規模改修工事に伴う休館</p> <p>※詳細は別途資料参照</p>	市長
(2) テーマに基づく市政報告	
【市からの状況説明】	
<p>○道路上に設定しているごみ収集場所</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市としても好ましい使い方ではないという認識でいるので、近隣に新たな開発で収集場所を設置する際に統合するなどの方法により、順次廃止していく必要がある。 ・収集場所の用地の確保が一番の課題となっており、実際に利用している皆様の御意見を踏まえ、また御協力もいただきながら、一つずつ解決していきたい。 	環境産業部長
【質問・要望・意見等】なし	

○ 第2部 市政全般について	
<p>(意見・要望)</p> <ul style="list-style-type: none"> 自治会の所管課は、以前は市民自治振興課で、現在は市民活動支援課となっている。市として自治会の加入率の問題など、どのように考えているか。 秦野市議会について、議員が会議で質問する内容を職員が作成していると聞いた。 	曲松12自治会
<p>(回答)</p> <p>【自治会について】</p> <ul style="list-style-type: none"> 以前は、市民自治振興課という課名で、市民活動担当と都市交流担当の2つの担当を所管していた。平成31年4月の組織改正で都市交流は、文化振興課へ移管した関係で、名称が市民活動支援課となった。人員体制や市民活動を支援するという面では衰退等はない。 自治会の加入率減少の問題については、秦野市に限ったことではなく、全国的な問題であると考えている。その中で、自治会長の皆様に自治会の運営等について、どういった課題があるか、アンケートを行った。課題として、加入率の低下、役員の高齢化、役員の負担がアンケート結果からはっきりと浮き彫りになった。 役員の高齢化に関しては、加入促進はもちろんのこと、業務を見直し、若い世代が参加する行事を行っている自治会の事例などを、事務局として情報提供をしていきたい。 負担については、自治体SNSアプリ「いちのいち」を導入しており、閲覧板は回さないという自治会もある。アプリは全員が使えるわけではないので、併用せざるを得ない部分もあり、皆様の御協力が必要となる。 加入促進について、加入のメリットは、いざとなったとき地域の顔が見える関係だと思っている。阪神淡路大震災で救護された約8割の方は、家族や近隣の方に助けられているといったデータがある。地域の顔が見える関係が、安心安全につながっていくので、加入していただけるよう事務局としてもPRをしていきたい。 	市民活動支援課長
<p>(質問)</p> <ul style="list-style-type: none"> 転入手続きの時に、自治会加入案内はしているのか。 	曲松12自治会
<p>(回答)</p> <ul style="list-style-type: none"> 転入手続きをする戸籍住民課の窓口や新しく住宅が建つときに開発事業者の方に加入案内のお願いはしているが、任意加入のため、入っていただけない方もいる。地域の皆さんの声掛けも必要なので、引き続き御協力をいただきたい。 	市民活動支援課長
<p>【市議会の質問について】</p> <ul style="list-style-type: none"> 数多くの議論の場があるが、それぞれの思いを持って御質問をされるものであり、市職員が質問を作成しているということはない。 質問を構成する中で、市職員が資料を提供することはある。 	政策部長

<p>(要望) ・国道246号の渋滞をを避けるため、沼代地区の住宅街を通り抜ける車が朝夕、多くなってきている。スピードもかなり出ている。車に対して注意喚起などできることはないか。</p>	<p>沼代自治会 連合</p>
<p>(回答) ・地元の皆様の御意見をいただきながら、その場所に応じた注意喚起の看板設置を検討していく。</p>	<p>くらし安心 部長</p>
<p>(要望) ・地区内のカーブミラーが全体的に古くなっている。光によってはミラーが反射して見えないところもある。改善していただけるとありがたい。</p>	<p>沼代自治会 連合会</p>
<p>(回答) ・カーブミラーについても、地元の皆様の御要望をいただきながら、順次対応していく。</p>	<p>建設部長</p>
<p>(要望) ・国道246号沼代交差点から千村に抜ける道の道路側溝が道路と同じ高さではなく、ガタガタして歩きづらい。補修を検討してほしい。</p>	<p>沼代1自治 会</p>
<p>(回答) ・建設管理課に相談の上、現地を案内いただき、確認したうえで対応していく。</p>	<p>建設部長</p>
<p>(要望) ・国道246号沿いで解体中のパチンコ店の裏付近は小学校の通学路になっているが、車が多く危険なので、時間帯や曜日で進入禁止とすることができないか。</p>	<p>曲松12自治 会</p>
<p>(回答) ・交通規制は、くらし安心部地域安全課に具体的な区間を御相談いただきたい。 ・通り抜けの規制をすることになるので、現地調査などをした中で秦野警察署と協議、検討していく。</p>	<p>くらし安心 部長</p>
<p>(要望) ・おくやみハンドブックを初めて知った。とても役に立つと実感したので、ぜひもっとPRしたいし、自治会館に置いておきたい。 ・組のファイルがあるので、入れても役に立つと思う。 ・自治会としても、亡くなった方の御家族の相談に乗っていきたい。</p>	<p>新生町自治 会</p>
<p>(回答) ・おくやみハンドブックは、人の死というデリケートなところがあるため、大々的にPRすることが難しい部分もあるが、市が行っている終活をテーマにした生涯学習講座や市民相談窓口で相続の相談があったときに案内をしている。配慮しながらもPRしていく。</p>	<p>くらし安心 部長</p>
<p>・市民活動支援課では、自治会ハンドブック作成し、配布している。おくやみコーナーの掲載はしていなかったが、今回の御意見を踏まえ、ハンドブックを修正し、ホームページに載せたい。</p>	<p>市民活動支 援課長</p>

(要望)

- ・渋沢2丁目の市道16号線の側溝に蓋をしていただき、安心して歩けるようになったが、一部で、擁壁と側溝の蓋の間に段差があり、高齢者が杖を突いて歩くのが非常に危ない。民地であってもこの間をコンクリートにして平らにしてほしい。
- ・市道16号線と17号線の交差点東側で、開発工事をしているが、その用地と側溝の間も草が繁茂している。開発申請時に調整していればきれいになるのではないか。



擁壁と側溝の蓋の間に段差



渋沢下自治会

(回答)

- ・市道16号線の側溝蓋改修工事については、予算の都合上、今後2か年に渡り、設置工事を予定している。擁壁と側溝蓋の間の段差については、現地を確認し承知はしている。段差部分は民地のため、工事にあたっては、地権者の協力が必要なため、地元の皆様には地権者調整など御協力をいただきながら、できるところは改修をしていきたい。
- ・開発行為を行う際に窓口等で調整をしており、市で引き取る際には、当然舗装した上で引取ることになるが、民地で残す場合には結果的に舗装されないことはある。草が繁茂し歩道等の利用に影響が出る場合には指導することとなる。

建設部長

(要望)

- ・中道バス停から西秦野郵便局間の市道でガードレールの老朽化が多くみられるが改修工事の予定はあるか。





堀川自治会 連合

(回答)

- ・ガードレールについては、交通事故防止を図ること、事故が起きた時にその被害を少しでも抑えるという2つの目的がある。現地を確認し、その機能が果たせていないガードレールについては交換及び修繕していく。

建設部長

<p>(意見) ・西自治連を代表して、小田急線4駅周辺にぎわい創造懇話会の会議に出席しているが、市役所の3人の担当者が全員変わった。せめて1人くらい残す配慮がほしかった。</p>	<p>曲松8自治会</p>
<p>(回答) ・市の担当者が全員変わってしまうということは基本的にはないが、仮に変わってしまったとしても、しっかり引継ぎをして次の担当者が行う体制にしている。また、前任者が他部署に異動しても必要に応じて確認を行うということは常にしているため、異動のタイミングで御迷惑をおかけする場合もあるが、引き続き、にぎわい創造がしっかりできるよう御協力をお願いしたい。</p>	<p>市長</p>
<p>(意見) ・市政報告の中にあつた電子地域通貨推進事業は、とてもいい事業だと思っている。自治会加入者を増やす取組として、電子地域通貨の優遇措置を一緒にやってほしい。 ・若い方は、メリットがないと自治会に加入しない。若い方に入ってもらうために電子地域通貨の優遇措置を検討してほしい。</p>	<p>渋沢中自治会</p>
<p>(回答) ・電子地域通貨の効果は、地域の活性化を促進し、コミュニティの弱体化を解消する目的として、自治会の加入促進や消防団への入団といったコミュニティを維持するうえでも電子地域通貨は有効なものと認識している。いろいろなアイデアを出しながら良い取組になるよう検討していく。</p>	<p>政策部長</p>
<p>(質問) ・国道246号バイパスの進捗について</p>	<p>まちづくり委員会</p>
<p>(回答) 1 国道246号バイパスの事業概要 ・ 厚木市中依知(圏央道 圏央厚木IC)から本市八沢(新東名 新秦野IC付近)までの自動車専用道路(延長29.1km) ・ 伊勢原区間、厚木区間の一部、本市区間の一部が事業化され、国において用地買収や工事等が進んでいる。 ・ 本市区間の一部、厚木区間の一部は未事業化のため、国において具体の動きはない。 2 秦野市域の状況 (1) 秦野中井IC以东(伊勢原西IC～秦野中井IC:5.2km) ・ 事業化区間 ・ 設計や各種調査、用地買収が実施されている (2) 秦野中井IC以西(秦野中井IC～秦野西IC:8.1km) ・ 未事業化区間 ・ 早期事業化に向けて、関係機関へ要望活動を実施中</p>	<p>建設部長</p>

厚木秦野道路の計画概要

○厚木秦野道路とは

厚木秦野道路は、一般国道246号のバイパスとして、厚木市中依知～秦野市八沢を結ぶ延長29.1kmの自動車専用道路です。

○事業経緯

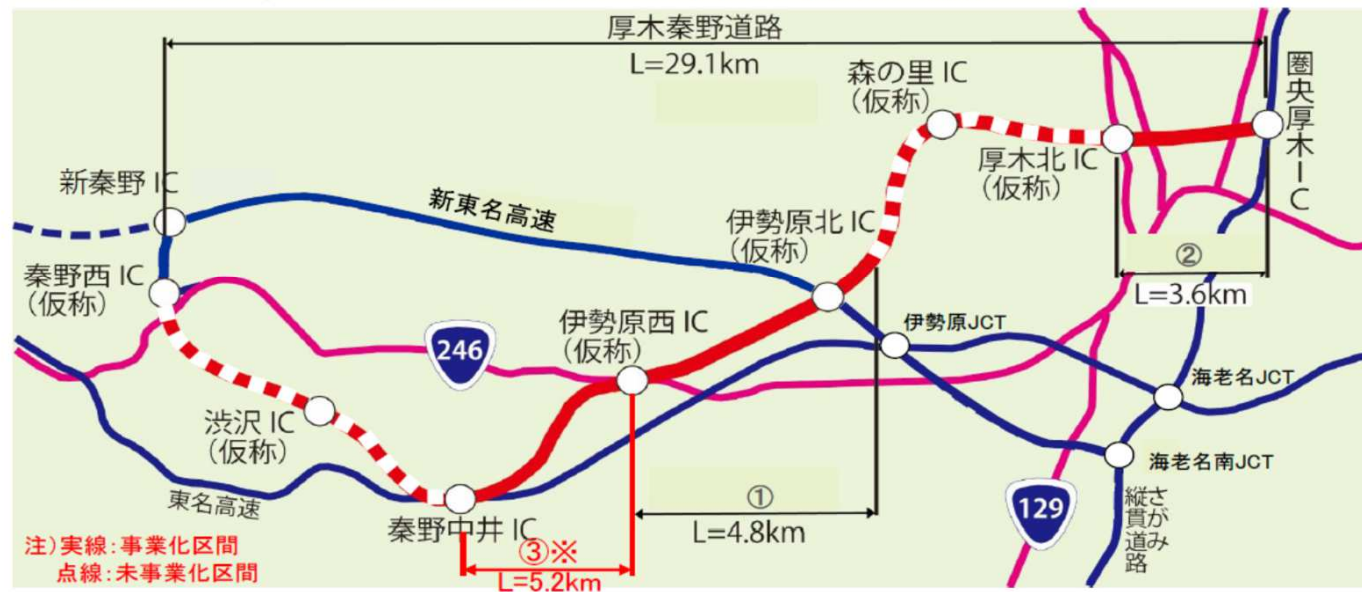
平成8年6月 都市計画決定

平成10年度 ① 事業化(伊勢原北IC～伊勢原西IC間 4.1km)

平成13年度 ② 事業化(圏央厚木IC～厚木北IC間 3.6km)

平成14年度 ① 事業区間延伸(伊勢原市西富岡～伊勢原北IC間 0.7km)

平成26年度 ③ 事業化(伊勢原西IC～秦野中井IC間 5.2km)



注) 実線: 事業化区間
点線: 未事業化区間

※伊勢原市域L=1.5km、秦野市域L=3.7km